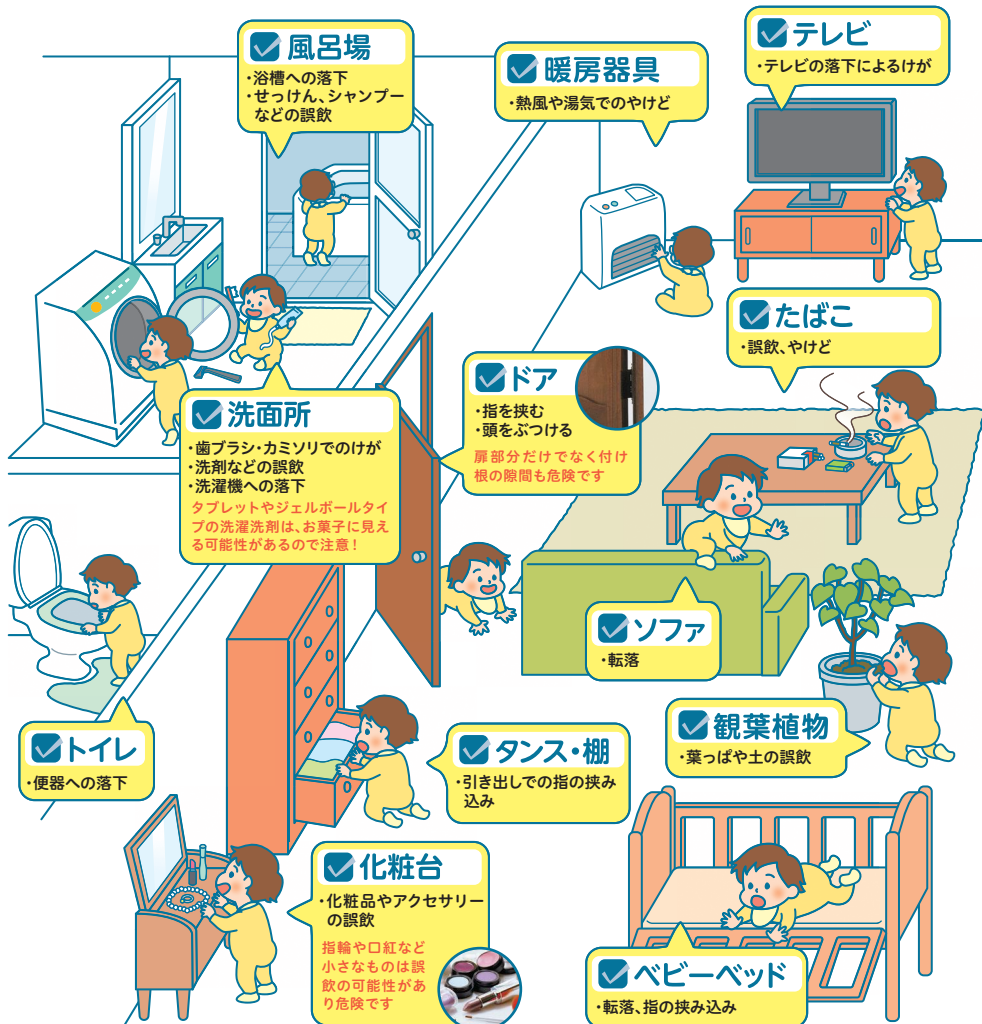


あなたの家は
大丈夫？

うちの中には、子どもの興味を引く「危険」がたくさんあります。あてはまる場所や物の位置をしっかりと確認して、事故対策を家族で考えておきましょう。

うちの危険箇所チェック



子どもの目線で
見ると危険がいっぱい



階段

・転倒、転落



キッチン

・刃物でのけが
・熱い鍋などでのやけど
2歳くらいになると背伸びすれば届くので注意が必要



ベランダ

・踏み台があると登って転落の危険
ベランダの柵の幅は大丈夫？



ビニール袋

・窒息の危険、誤飲



電気ケトル

・転落時の湯漏れや湯気を
さわってのやけど
・コードをひっぱる・かじる

コンセント

・やけど、感電
・小さい物をつめこんで火事



テーブル・イス

・テーブルクロスを引っ張って
上の物の落下によるけが
・イスからの転落

アイロン

・やけど
・コードをひっぱる・かじる



おもちゃ

・誤飲

小さなおもちゃ
は誤飲の危険が
あるので注意！



育児をサポートしてくださるおじいちゃんおばあちゃんへ

赤ちゃんに
いいこと
いっぱい♪



まごころ育児



育児の大先輩であるおじいちゃんおばあちゃんは、とても頼りになる育児のサポーター！これからの育児(孫育て)の心の準備として、『まごころ育児』をご活用ください。

ホームページからリーフレットを印刷できます。

青森市 まごころ育児 検索



01

多くの手で子を育てるメリット



孫

- ・たくさんの交流で経験が豊かに。
- ・家族にゆとりができ、ゆったりと接してもらえるため、情緒面が安定する。



父母

- ・体も心も余裕をもって育児ができる。
- ・育児経験者から育児のコツを学べ、安心できる。
- ・仕事がしやすくなる。



祖父母

- ・孫の日々の成長、かわいいうさぎに癒される。
- ・手助けが必要な時に、サポートし合える家族関係が築ける。

02

特に気を付けたいポイントを確認



① 子ども目線での安全な環境

・薬・小銭・タバコ・ボタン電池等の小さな物や、ハサミ、洗剤、チラシ等の紙類、ポリ袋等は、手の届かない場所に収納しましょう。

※トイレトーパーの芯を通る物は、飲み込む危険性があります。

・子どもはわずかな水でも溺れます。浴槽や洗濯機等の水は抜いておきましょう。

・ホコリはアレルギーの原因になります。お部屋は清潔に。

② 食事の内容

・アレルギーの有無、食べ物の硬さや口にする大きさ等を、事前に確認しましょう。

・初めて食べる物は、病院を受診できる日中に、パパ・ママと一緒に与えましょう。

・硬くて小さいピーナッツ等は誤嚥のリスクがあるので、5歳頃までは控えましょう。

③ 治療の有無

・お孫さんが治療している病気や、内服薬を確認しましょう。

・病気の時は、症状や体温など、どのように経過しているかを確認しましょう。



昔



今



抱っこ

抱っこしすぎると抱き癖がつく。

子どもは抱っこで安心し、愛着が育まれます。求められたらたくさん抱っこしましょう。

母乳・
ミルク

・ミルクは子どもが肥満になる。
・みんな母乳が出るものだと思っていた。

様々な理由で母乳を与えられない人もいます。母乳かミルクかに関わらず、無理なくゆったりと授乳できることが大切です。

離乳食

・はじめは果汁からスタート。
・お風呂の後は白湯で水分補給。



・すりつぶしたおかゆからスタート。
・水分補給は母乳やミルクでOK。
・ハチミツは1歳を過ぎてから。

体温調整

・風邪をひかせないように一枚多めに着せよう。
・エアコンを使ったら風邪をひく。

・厚着に気を付けましょう。首や背中に汗をかいていたら「暑い」のサイン。
・暑いときはエアコンを使用し、熱中症を防ぎましょう。

トイレ
トレーニング

・早くおむつから卒業しよう。
・〇歳を過ぎたらトレーニングしよう。

・始めるタイミングは子どもの成長に合わせて。「おしっこ出る」の事前報告や、便座に座る・水を流す等の動作ができるなど、心身の準備も必要です。

～おじいちゃんおばあちゃんへ育児サポートをお願いするパパママへ～

大切なお子さんを預かるおじいちゃんおばあちゃんにも緊張や不安があります。サポートをお願いするときは、具体的に何をお願いしたいかをしっかり伝え、サポートをしてもらったら「ありがとう」を忘れず！

